ICTサポータの活用事例

Benesse

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小5-6	総合等	プレゼンテーションの基本	プレゼンテーションソフト

授業内容

プレゼンテーションをする場合に大切なことは何かを知り、準備をする

準備：

・提示資料を準備する。

・ワークシート「とらのまき」のファイルを準備し、子供たちに配付する。（印刷して配付、またはデータで配付）

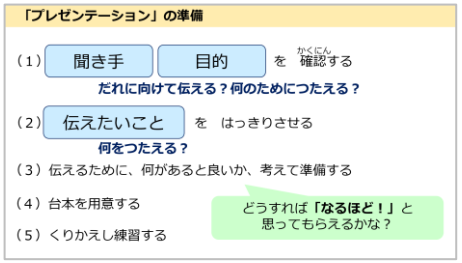
授業の流れ：

1. プレゼンテーションとは何かを知る。
2. 聞き手・目的・伝えたいことを明確にする必要があることを知る。
3. プレゼンテーションソフトを使用する場合のポイントとして、文字は少なくしてキーワードで書くこと、写真やグラフをしぼりこむことを知る。
4. プレゼンテーションを行う前の練習時に、チェックリストの観点をもとに改善点を見つけることを理解する。
5. これから取り組むプレゼンテーションについて説明を聞く。
6. ワークシート「とらのまき」の「①準備をしよう」を使って、「なるほど」と思ってもらうために、聞き手・目的・伝えたいことなどをグループで話し合い、作成前の準備を行う。
7. 次時以後、実際にプレゼンテーションの準備をすすめていくことを確認する。

サポータおすすめポイント

- プレゼンテーションは聞き手に合わせて目的を持って伝えることが大切で、相手に「なるほど」と思わせることがゴールであるとまず確認することで「調べて、まとめて、発表する」から一歩すすめた取り組みを目指します。
- ワークシート「とらのまき」は授業の内容に合わせてカスタマイズしてお使いください。
- プレゼンテーションの準備・作成、発表の練習やふりかえりを通してご活用いただけます。

提示資料を使って
プレゼンテーションをするときの
ポイントを確認します



「とらのまき」を使って
要点をおさえながら準備をすすめたり、
ふりかえりをしたりすることができます